

予算委員会 会議録

日 時 令和4年3月14日(月曜日) 午前9時57分 ～ 午後3時50分

場 所 臼杵庁舎2階 全員協議会室

出席委員の氏名

委員長 戸 匹 映二	副委員長 武 生 博明	委 員 河 野 巧
委 員 川 辺 隆	委 員 匹 田 久美子	委 員 内 藤 康弘
委 員 伊 藤 淳	委 員 梅 田 徳男	委 員 広 田 精治
委 員 奥 田 富美子	委 員 若 林 純一	委 員 長 田 徳行
委 員 久 藤 朝則	委 員 大 塚 州章	委 員 大 嶋 薫
委 員 吉 岡 勲	委 員 牧 宣雄	

オブザーバー

議 長 匹 田 郁

欠席委員の氏名

(な し)

説明のため出席した者の職氏名

政策監(福祉保健担当)	杉 野 等	政策監(民生担当)	小 坂 幸雄
教育次長兼教育総務課長	後 藤 誠也	政策監(産業担当)	佐 藤 一彦
総務課長	柴 田 監	財務経営課長	荻 野 浩一
秘書・総合政策課長	安 東 信二	防災危機管理課長	竹 尾 幸三
市民生活推進課長	川 野 徳明	市民課長	佐 藤 修治
税務課長	姫 野 敬一	環境課長	廣 瀬 武志
高齢者支援課長	田 中 美智子	子ども子育て課長	尾 本 浩
福祉課長	大 戸 敏雄	都市デザイン課長	小 坂 郡師
併市福祉事務所長			
建設課長	高 野 裕之	総務課参事	佐 世 善之
産業促進課長	佐 藤 忠久	上下水道管理課長	齋 藤 隆生
社会教育課長	川 辺 宏一郎	おもてなし観光課長	中 尾 敬
農林振興課長	目 原 康弘	学校教育課長	後 藤 徳一

学校教育課参事兼 野津学校給食センター所長	麻生 幸誠	契約検査室課長兼 会計課課長	藤原 裕治
文化財課課長	後藤昌二郎	農林振興課参事	藤澤 清巳
農林振興課参事	竹尾 智明	その他関係職員	

出席した事務局職員の職氏名

局長 平山博造 次長 後藤秀隆 副主幹 高橋悠樹 書記 大井智香子

傍聴者

(な し)

会議に付した事件及び審査結果

番 号	件 名	審査結果
第21号	令和4年度臼杵市一般会計予算	原案可決
第22号	令和4年度臼杵市水道事業会計予算	原案可決
第23号	令和4年度臼杵市下水道事業会計予算	原案可決
第24号	令和4年度臼杵石仏特別会計予算	原案可決
第25号	令和4年度臼杵市浄化槽整備推進事業特別会計予算	原案可決
第26号	令和4年度臼杵市国民健康保険特別会計予算	原案可決
第27号	令和4年度臼杵市介護保険特別会計予算	原案可決
第28号	令和4年度臼杵市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決

午前9時57分 開議

○委員長(戸匹映二)

皆さんおはようございます。10時少し前ではありますが、ただいまから予算委員会を開催いたします。本3月定例会では、適切なマスク着用の徹底が、議会運営委員会で決定しております。

本委員会でも、議会運営委員会で決定したルールの遵守をお願いいたします。また、感染防止対策として、30分ごとに換気休憩を挟みます。若林純一議員、適切なマスクの着用をお願いします。

本日の傍聴につきましては、傍聴の申し出があった場合には許可をしたいと思いますのでご了承ください。若林純一議員、適切なマスクの着用をお願いします。ルールを守っていただけない場合は、本日の委員会終了まで退場命令を出すことがあります。それでは、一般会計と特別会計のすべての説明と質疑終了後に、一般会計から順次、討論、採決を行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。若林議員、マスクの着用をお願いします。若林純一議員に対しては、再三適切なマスク着用のルールの遵守を求めて参りましたが、それに従わないため、委員会の秩序を乱すので臼杵市議会委員会条例第22条第2項により、本委員会からの退場を求めます。繰り返します、若林純一議員は、退場してください。若林純一議員に退場命令を出しましたが、まだ退席をしていない状況にあります。本委員会としましては、議会から付託を受けた議案審査を停滞させることはできないため、若林純一議員が、退席命令に従うことの有無に、関係なく、このまま議事を進行いたします。それでは、これより議事に入ります。本委員会に付託されました議案は8件であります。本日の委員会は、お手元に配付しております委員会次第により、進行をいたします。また、質疑及び答弁を行う場合の挙手についても、徹底をお願いいたします。それでは初めに第21号議案、令和4年度 臼杵市一般会計予算を議題といたしますが、申し出によりまして、最初に、荻野財務経営課長より、当初予算全体に係る説明をお願いいたします。

◎財務経営課長(荻野浩一)

おはようございます。お時間をいただきありがとうございます。本日はよろしくお願いいたします。それでは、概要説明したいと思いますので、座って説明いたします。

(令和4年度 3月当初予算重点事項説明資料 1～8ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

ありがとうございました。それではこれより、総務関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎総務課長(柴田 監)

(令和4年度 3月当初予算重点事項説明資料 9～13ページに基づき説明)

◎財務経営課長(荻野浩一)

(令和4年度 3月当初予算重点事項説明資料 9～13ページに基づき説明)

◎秘書・総合政策課長(安東信二)

(令和4年度 3月当初予算重点事項説明資料 10～16ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

それではここで換気のため 5 分間休憩いたします。

午前10時32分 休憩

午前10時37分 再開

○委員長(戸匹映二)

それでは再開いたします。

◎防災危機管理課長(竹尾幸三)

(令和4年度 3月当初予算重点事項説明資料 10～17ページに基づき説明)

◎市民生活推進課長(川野徳明)

(令和4年度 3月当初予算重点事項説明資料 11～17ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で、総務関係の説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は、挙手をもってお願いします。

○委員(河野 巧)

概要説明資料の11ページの歳出の4番、人件費(会計任用職員)、こちらのほうが制度改正により社会保険の加入者の増60名ってことですけども、賃金が上がったことで、20日以上という時間的なもので、社会保険の加入者が60名増えたということよろしいでしょうか。

◎総務課参事(佐世善之)

河野委員の質問にお答えをいたします。今現在、会計年度任用職員について政府管掌健保というところに入っておりますけども、10月から共済組合のほうに、入るようになりますのでその分でございます。

○委員(河野 巧)

会計年度任用職員が何十人かいると思うんですけど、この60名という方全員それに移行するってことですか。それとも賃金的なもので、当てはまる人だけが60名ってことでしょうか。

◎総務課参事(佐世善之)

河野委員の質問にお答えいたします。条件が変わりますので、その分の特に変わった方が増えて、新たに加入するといったことでございます。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(奥田富美子)

2点お願いします。14ページの歳出44番のところですが、移住支援のところにコロナ対策費を使われるという、説明があったかと思うんですが、幅広く対応できるという認識がありますが、この移

住支援事業とそのコロナ対策費を充てるというところの考え方を、もう少し説明をお願いします。それと歳出67番ですが、WiFiの整備ということでした。15ヶ所のうち、今回5ヶ所追加したら14ヶ所整備されるのかなと思ったんですが、あと1ヶ所は整備しなくても大丈夫なのでしょうか。以上です。

◎秘書・総合政策課長(安東信二)

奥田委員のご質問の44番の移住支援の、ご質問にお答えいたします。コロナ対策交付金を使う、メニューは、オンライン移住イベントでございます。今まで大都市とかに出かけて、そこでブースを作るというようなことだったんですけど、それが、感染症対策でできないということで、そこをオンラインを使ってという部分で、この補助金を活用させていただいております。以上です。

◎防災危機管理課長(竹尾幸三)

奥田委員のご質問にお答えいたします。災害情報ボックスについてなんですけども、臼杵市としては、今、市の指定避難箇所すべてに設置するのを目標としております。そのうちに、まず、来年度は、15ヶ所がもう毎年、大体開くところになるんですけども、その15ヶ所を少しでも早くやっこうと、あとは計画的に毎年、つけていこうということで、来年度5ヶ所となっておりますので、また、もう1ヶ所残ってるじゃないかという話になるんですけども、そこについても、やっていく予定にしております。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(匹田久美子)

歳出ナンバーの50番です。地域活性化事業補助金ということで、これは全国フットパス臼杵大会に出される補助金ということですが、このお金は、開催予定の3日間のための補助金でしょうか、それともその事前のPRも込みでしょうか。フットパスは、町の風景を楽しみながら歩くというレクリエーションなので、コロナ禍でも比較的観光にも、これから寄与していくと思いますし、その全国大会が臼杵で行われるとなれば、臼杵の市民が町の良さを見直す契機にもなると思いますので、PRを存分にさせていただきたいなと思っの質問です。

◎秘書・総合政策課長(安東信二)

匹田久美子委員のご質問にお答えいたします。150万円の補助金に関しましては、この全国大会の、全国フットパスの集い臼杵大会実行委員会に対する補助金であります。その中に、PR等の内容も含まれておりますので、フットパス全体に対する補助金というよりは、性質的には、全国大会の実行委員会に対する補助金であります。ただこの事業を契機に、各地域振興協議会等で、フットパス等がまた普及して、臼杵の良さをどんどんアピールできていければと、その契機になればとは考えております。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(広田精治)

一点お聞きます。この総務関係の、予算の中に、マイナンバー制度にかかる予算、総額で幾らかぐらいか、分かりますか。

○委員長(戸匹映二)

休憩いたします。

午前10時55分 休憩

午前10時56分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。

◎財務経営課長(荻野浩一)

広田委員の質問にお答えします。総務関係といいますか、総務と市民課、ちょっと建設課にも関わりますけども、実際 DX という形での予算としましては、1 億1,600万円の予算を計上しております。中には、総務課の中でも話をしましたスマート自治体、クラウドPBX、コンビニ証明、そういったもの含めて、自治体 DX というふうな形での予算としては1 億1,600万円となります。だから広田委員がおっしゃった、マイナンバーカードというのを、拾いにくいんですけども自治体 DX といったところで、ご勘弁願えればというふうに思います。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(河野 巧)

概要説明の11ページの9番。スマート自治体事業ということで、先ほど、コンビニでいろんな証明書を取れるってということなんですけども、そのデモンストレーションというか庁舎でも、期間を導入して体験していただくっていう形の費用も入っているというご説明だったと思うんですけども、それは、極端な話、窓口で申請するのと、その機械を使って申請するので、あまり違いがないのか、そうした場合に、コンビニという同じような機械を設置してそれを体験してもらうのか。そうした時にそれをいつまで置くのか。お願いします。

◎総務課長(柴田 監)

河野委員のご質問にお答えいたします。先ほど説明の中でも申しましたが、コンビニで交付ができるということになったとしても初めて取りに行く人が、例えば、ちょっとお年を召した方とかが、いきなりその機械を使えるかというのは、難しいのではなかろうかということもありますので、市役所に、同じ機械を市民ホールに設置いたしまして、そういう方が証明とかを取りに来たときには、次回からこういう操作をすれば、近くのコンビニで同じことができますよというようなことで、操作の仕方等を知っていただくと、周知することで、次回から近くのコンビニで取っていただく人を増やす

というような目的で考えております。こちらで計上してるのは、コンビニへ置いてるのと同じ機械を設置します。期間は対応期間中の５年でございますので、一応５年を考えております。

○委員(河野 巧)

質問なんですけど、５年間っていいますと、毎年決まった金額が今後、かかっていくのか今回ののに全部含まれているんでしょうか。

◎総務課長(柴田 監)

河野委員の質問にお答えいたします。５年間も機械購入の分はもう必要ありませんが保守の分が若干かかってくる、ということでございます。

○委員(河野 巧)

ありがとうございました。それと、13 ページ、33 番の車両購入費ということで、最近、部品というか、車を購入するのに遅れ気味な納車が多いと聞きます。そうした時に、多分計画的に車両を入れ替えるするのに、車検が切れる前に購入を行われるんじゃないかなと思うんですが、そうしたときに、購入する車が２ヶ月、３ヶ月遅れた場合、既存の車の車検料というのがまた再度かかってくるんじゃないかなと思うんですけど、その辺は、特に予算計上はしなくていいのか、もしくは、それを見越して半年ぐらい前から予約してるのか、その辺の説明をお願いします。

◎財務経営課長(荻野浩一)

河野委員のご質問にお答えします。特にこの中で、軽の箱バン、とか言われるものについては、議員がおっしゃったように、仮に今、車検が切れても車を購入しても入ってこないというような場合は、代替の車を出します。当然、車検が切れた段階で廃車します。ただ、そのマイクロバスとかいうのは、なかなかそういうわけにはいかないもので、そういったことも踏まえて、計画的な発注をしたいというふうに思っておりますが、今回のように、コロナの関係とか延びる場合も、あろうかと思えます。その場合は少し考えなくてはいけないのかなというふうに思えます。予算化しておりません。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(川辺 隆)

防災危機管理課の 63 番、材料支給で生コンと手すりが上がってまして、同じく 71 番で、道路整備避難所整備に関わる、1 地区当たりの上限 100 万円というお話がありました。先般、海岸近くの、地区等でお年寄りの方々とかが、階段を利用した避難路整備に、関わる時に階段が急だとか、いう条件でそこに手すりをつけてください。で、お願いをして、地元の方が聞いた時に上限が 30 万円ですよという話が実はありました。しかしながら、今の説明を聞きますと、原材料費支給の中に手すり等という項目があって、これ原材料費を支給する。で、避難の整備に関わる、整備事業で 100 万円、別にこれ 1 地区当たりで見ますよということは、この二つの事業費は、併用できるという私の解釈でよろしいんでしょうか。

◎防災危機管理課長(竹尾幸三)

川辺委員の質問にお答えいたします。まず、最初にあった防災機器の生コン手すり等の原材料支給、これについては先ほど川辺委員おっしゃられたように、もうすでに設置している、設置といいますか避難道があるけども、手すり等がないと高齢者が登れないと、そういったものに関するもので、最後にありました71番のやつについては、新たにもしくは、その避難道しかないところにすでに、もうこの整備をして何年もたつところも含めるんですけども、そういったもうこの避難道しかないですよというところが新たに作る時の補助という形になってますので、基本的には、整備する時点ではかぶらないこと。こっちの、100万円のほうにも実は原材料支給分と、それから業者の人夫賃といえますか、人約分、その部分がこれの対象になってますので、この100万円の整備費用を使う際には、もうそこまでという形になります。

○委員(川辺 隆)

今のご説明によりますと、新たに避難道を整備する分に使う事業費と、そこから先にできたものに対して、また、追加でやる分のご説明がありましたが、一昨年度の臼杵地区、大変、海岸沿いが多くあって、海岸沿いの高台というのは、ほとんど神社とか、高台の避難場所、これにはなかなか車椅子を利用して車が登る道路、大変勾配が厳しい状態で、階段を利用したの避難が必要になってます。

その階段は神社の階段であって避難路整備に携わった階段ではありません。ということは今のお話によりますと、新たに手すりを避難道に設置する場合は、こちらのほうの71番の事業費を使用できるということですのでよろしいですね。

◎防災危機管理課長(竹尾幸三)

川辺委員のご質問にお答えいたします。その通りです。ただ、今71番について、利用できる場所ですね。範囲が限られてるということです。

○委員(川辺 隆)

ありがとうございました。新年度になってから1度現場を見ていただきたいと思います。また、1つふるさと納税の件で、お伺いしたいんですけども、本年度のふるさと納税の収入額が下がっていると、よくお聞きします。その下がっている要因の一つに、臼杵市の中で、不適切な行動する。マスクをしないとか、議場が混乱してるとか。そういうことで臼杵市のほうに、ふるさと納税をしたくないという、納税者の方がおられたということですが、それは事実ですか。

◎秘書・総合政策課長(安東信二)

川辺委員のご質問にお答えいたします。実際にそういう理由を言ってこられた方は1名いらっしゃいます。ただあと今回ふるさと納税の額が落ちた要因がありまして、臼杵市の売りが、フグと、有機野菜、それと、最近豚肉のほうが非常に好評でございました。フグに関しましては今年も好調なんですけれども、有機野菜が、日照時間の天候不良によりまして、8月から11月まで、受注ができなくなりまして返礼品をお返しする野菜が育たなくて、そこでストップをしたということと、あと豚肉のほうで、うちの場合1キロ、1万円で2キロなんですけれども、よその自治体は最近1万円で4キ

口とかいうそういうのが、スマホとかで出るものですから、そういうところにちょっと押された。あと今まであまり力を入れてなかった、大分市ですとか別府市が力を入れ始めたというような状況、いろんな要素がありまして、ちょっと昨年より減っております。なので食文化創造都市の強みを生かして、来年は戦略を立てていきたいと考えております。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(河野 巧)

はい。14ページの、42番。地域おこし協力隊事業ということで、こういうのができて長いと思うんですけども、コロナ禍の中、前回も話したんですけど、報告会等は行われてないようにあります。こういう方を、臼杵市としても多く来ていただきたいというのと、来た方もこういうことをやってきましたっていう、PRの場があったほうがいいのかと思ってますんで、他市を見ると、コロナ禍の状況でも、やり方をいろいろ変えて、報告会等を行っていますし、それを見た、また新たな方がそこに行って参加して協力隊になってみようかなっていう方も、多いと聞きます。臼杵市のほうとしたらこの活動費の中にそういった報告会の費用も含まれてるのかどうなのか。また、一昨年とどういう形だったかお知らせいただければと思います。以上です。

◎秘書・総合政策課長(安東信二)

河野委員のご質問にお答えいたします。昨年度、今年、報告会がおっしゃるとおり、できておりません。今年度は、活動報告をホームページで報告するように今、準備をしております。報告会の予算自体は、この経費に計上されておりますが、やはり、河野委員がおっしゃるように、活動内容について広く知らせることが必要ですので、ホームページで公開したいと思っております。

実際思ったような活動ができなかったこともありましたので、その辺も含めて報告をしたいと思っております。ありがとうございます。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。以上で、総務関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。ここで10分間休憩いたします。

午前11時10分 休憩

午前11時20分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。次に民生関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎市民課長(佐藤修治)

(令和4年度 3月当初予算重点事項説明資料 18～19ページに基づき説明)

◎税務課長(姫野敬一)

(令和4年度 3月当初予算重点事項説明資料 18～20ページに基づき説明)

◎環境課長(廣瀬武志)

それでは私から、環境課所管の予算の説明をさせていただきます。説明に入ります前に、議員の皆様へお願いなんですけども、環境課の予算の大半は、ごみとし尿の処理にかかる計上経費ということになります。そこで計上経費に関しましての説明を省略させていただきますことと、あと件数が多いので、説明が資料のページ数を、行ったり来たりすることについて、ご容赦をお願いいたします。

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 18～22ページに基づき説明)

◎部落差別解消推進・人権啓発課長(小坂幸雄)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 19～22ページに基づき説明)

◎税務課長(姫野敬一)

すいません先ほどの説明で一つ、説明が漏れていました。資料の22ページをご覧ください。債務負担行為のナンバー1。住民税課税支援システムリース期間が、令和5年度から令和9年度まで、限度額1,071万2,000円を追加しております。以上です。

○委員長(戸匹映二)

以上で、説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は、挙手をもってお願いします。

○委員(奥田富美子)

1点お願いします。歳出の9番なんですけど、この臼杵市はバイオマス産業都市の指定受けて、すでに取り組んでいる部分もあって、排出抑制もできている部分があるかなと想像するんですがその辺、そこの絡みについて、策定の際にリンクするものなのかどうかということと、委託料が990万8,400円計上されてますが、委託先はどのようなところになるのかと、選定方法を教えてください。

◎環境課長(廣瀬武志)

奥田委員の質問にお答えいたします。まずは、バイオマス産業都市構想とのリンクではありますが、この脱炭素社会を目指すための計画でありますので、バイオマス産業都市構想のことも含めた上で検討する予定であります。それから、委託先でありますけど、こちらはまた、予算議決をいただいた後に、契約検査課とも相談しながら、指名する業者を決めていくということになります。以上であります。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(河野 巧)

説明書の20ページの11番、施設整備工事費です。パークゴルフ場整備についてなんですけども、金額が当初より多めにかかっている予算だったと思うんですけども、その増えた内容がどういうものなのか当初と違うことをもう少しご説明ください。それと、今後の管理と、また地域の方が心配している安全性、また、当初説明にあった、こういうことをするにあたっては愛好家なのかそういった団体なのか、協会的なのを設立されたという、ご説明だったんですけども、その進捗状況をお知らせくだ

さい。

◎環境課長(廣瀬武志)

河野委員のご質問にお答えいたします。まず費用の増額理由ということでありますが、計画時点ではあくまで概算の事業費ということで試算をしております、今回実施設計をする中で、増額ということになりました。で、計画との差の部分なんです、大きな部分で言いますと造成費用と、あと芝生の植付けの費用が、計画時点よりも増えているということになります。それから、整備後の管理等につきましては、まだこれから整備工事にかかりますので、完成するまでに、管理について十分検討を進めていきたいというふうに考えております。それから協会の状況であります、先般、協会設立に向けて、発起人会というものが開催されたというふうに聞いておりますので、協会設立に向けての具体的な動きが始まったというふうに聞いております。以上であります。

○委員(河野 巧)

管理についてはこれからというお話なんですけども、結構な予算規模でやってますので、本来であれば、そこも踏まえて、計画を出していただきたいなっていうのがあるんですけども、作ったらいいけど管理するところが、どこになるのか。どういったところを想定されてるのかっていうのはもう少しご説明していただきたいのと、安全性については、地域の方がまだ不安に思ってるんですけどもそういうことに対しては、地域への説明等、現状どうなってますでしょうか。それと、協会が発起会を最近行われたってことなんですけども、その発起された会には、市の方は参加されてないのでしょうか。その点、もう一度説明をお願いします。

◎環境課長(廣瀬武志)

河野委員のご質問にお答えいたします。まず管理についてですけども、こちら先ほど申し上げた通り、これから検討を進めていきます。管理をするところでもありますけども、こちらにつきましても、今のところ、まだ検討を始めた段階でありますので、具体的な方針はまだ定まっておりません。それから、協会のほうであります、こちらの発起会のほうに私どもも出席をしまして、状況の説明はさせていただいております。それから、安全性を地元地区への説明ということでありますけども、現時点ではパークゴルフ場の整備をするという説明をしております。これから実際工事が予算の議決いただいた後に、工事を発注するようになりますけども、そのタイミングで、地元の地区の皆様へも、こんな工事です進めていきますという説明をする中で、安全性についても、併せて説明をするという予定をしております。

以上であります。

○委員(河野 巧)

私も言い方が特定していなかったんですけども、地域っていうのが、実際もう名称言いますけど、現場がある久木小野地区とその周辺の中臼杵地区、また、それを利活用するであろう南津留地域振興協議会等も含めて、どのレベルの地域で今後、話し合いを持たれる予定でしょうか。

◎環境課長(廣瀬武志)

河野委員のご質問にお答えいたします。工事着手の段階でこちらが説明する想定をしている地区

としましては、久木小野と中臼杵地区、ということで考えております。その他の地区の皆様に関しましては、市報やホームページ等を活用しながら、市民の皆様全体へ周知するとともに、また整備が完了に近づいたタイミングでは、近隣の市町村のほうにもアピールして、できるだけ利用していただくと、お客様として来ていただくという方向でPRしていきたいというふうに考えております。以上です。

○委員(河野 巧)

こたわって、質問させてもらうんですけども、実際、一般質問でもさせてもらったんですけど、今のままでいくと、収支がどうしても赤字状況の説明しか受けてないものですから、いかにそれを、赤字幅を減らしていくかっていうところになると思うんですけども、今回は事業費、工事費ですけども、工事をするにあたっては、採算がないとなかなか予算の承認が難しいと私は感じています。それに向けた、担当課としての考えがもう少し欲しいんですけども、要は赤字幅は、現状のままで今積算してるのか、それとも、この期間、こうしたら増えるんじゃないかっていう新しい案をお持ちなのでしょうか。お願いします。

◎環境課長(廣瀬武志)

河野委員のご質問にお答えいたします。赤字幅を少しでも少なくするという方策でありますけども、これから整備工事入っていきますので、この期間中に、環境課だけではなく、ほかの関係する課も含めて、関係課で集まって、なるべく多くお客様を集められる方策を検討しながら、少しでも利用客を増やすという形に持っていくということを考えております。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(広田精治)

予算説明書の74ページ。小坂課長の担当のところだと思いますので、節の10の事業費の中に、消耗品費が、240万円ほど入っています。この中に含まれているはずの、はずというか間違いないと思うんですけど。ある特定の運動団体の、定期刊行物が、60万、70万円予算で入っていると思うんですけども、それは、昨年度の、購入冊数の800冊、ということでもいいですか。

◎部落差別解消推進・人権啓発課長(小坂幸雄)

休憩をお願いします。

○委員長(戸匹映二)

休憩いたします。

午前11時49分 休憩

午前11時50分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。

◎部落差別解消推進・人権啓発課長(小坂幸雄)

広田委員のご質問にお答えいたします。74ページの需用費は、この社会福祉総務費の中には、その本代というのは入っておりません。以上でございます。

○委員(広田精治)

私がいただいた情報開示の支出命令書の資料によると、一般会計、第3款民生費、第1項社会福祉費、第一目の、社会福祉総務費、この中の消耗品の明細として、いただいた資料によると、さっき私が言ったようになってるんですけど間違いでしょうか。

◎部落差別解消推進・人権啓発課長(小坂幸雄)

ご質問にお答えします。それは広田委員、年度は何年度を見ておられますか。

○委員(広田精治)

前年です。

◎部落差別解消推進・人権啓発課長(小坂幸雄)

休憩をお願いします。

○委員長(戸匹映二)

休憩いたします。

午前11時52分 休憩

午前11時53分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。

◎部落差別解消推進・人権啓発課長(小坂幸雄)

広田委員のご質問にお答えいたします。今、審査は、令和4年度でございます。先ほど聞いたのは、令和3年度のものだと思います。2年度のものには、おっしゃるようにその分は、消耗品の中に入っております。以上でございます。

○委員(広田精治)

私が知りたいのは、今年度のこの予算は、同じような数で、同じような金額になってるかということを知りたい。

◎部落差別解消推進・人権啓発課長(小坂幸雄)

広田委員のご質問にお答えいたします。同等数になっております。以上でございます。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。以上で民生関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。午後1

時より再開を予定しております。よろしくお願いします。午後1時まで休憩をいたします。

午前11時54分 休憩

午後0時59分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。次に福祉保健関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎保険健康課長(杉野 等)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 23～26ページに基づき説明)

◎高齢者支援課長(田中美智子)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 23～26ページに基づき説明)

◎子ども子育て課長(尾本 浩)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 23～28ページに基づき説明)

◎福祉課長(大戸敏雄)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 25～29 ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で福祉保健関係の説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。河野委員。

○委員(河野 巧)

25ページの4番、保健健康課の臼杵市感染症拡大防止対策事業支援金ということで、小児科への支援金になってると思うんですけども、これは臼杵の子供さんが行く分には、わかると思うんですけども、他市から来た分ってのは、他市からも援助金があったりするんでしょうか。

◎保険健康課長(杉野 等)

河野委員のご質問にお答えいたします。4番のこの支援金につきましては、臼杵市内のとうぼ小児科に対する支援金でございます。そのとうぼ小児科に来る子供さんたちが、臼杵市内、市外という区分けがつきません。小児科でございますので、臼杵市にその医療機関があるということで、支援を行っております。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(奥田富美子)

2点お願いします。今出ました歳出4のところなんですけど、この支援金は、人に対してでもいいし、何に使うかは、その判断ということでよいのでしょうかということと、歳出の7番の診査委託料のところなんですけど、県が3分の2の補助と説明があったんですけど、この枠だけで見ると3分の2に読み取れないのでどんな仕組みか教えてください。

◎保険健康課長(杉野 等)

まず、奥田委員のご質問にお答えします。小児科医の支援金につきましては、とうぼ小児科が別棟に、発熱外来を作っておりますので、その賃借料、家賃料を支援しているという感じでございます。その他の費用については、診療報酬の中からどうにか賄えるということで、その分だけの支援ということです。それと、7番の健康検査委託料の県費ですが、これにつきましては、この健康検査委託料のうち、健康相談事業や、訪問指導にかかる経費について、県のほうが3分の2の補助していただけるということで、その金額が199万円ですので、それを割り戻したら、この部分の事業費になるということでございます。以上で説明終わります。

○委員(長田徳行)

歳出18番。地区集会所建設事業補助金、今年7件700万円になっています。これ申請して、工事にかかる期間はどのぐらいかかっていますか。

◎高齢者支援課長(田中美智子)

長田委員のご質問にお答えいたします。工事までの期間ですけれど、躯体に関する工事、例えば雨漏りとか基礎部分の腐食についてはできるだけ早く工事をするようにしております。また、夏の脱水症に対する対策でのエアコンの設置なども、早めにする限りしておりますが、その他につきましては、現在1年から1年半ほど、状態によっては待っていただくこともあるということになっております。以上です。

○委員(長田徳行)

昨年の申請件数、今年度3月までどのぐらいになりますか。

◎高齢者支援課長(田中美智子)

現在、市のほうで把握しております分については、14件ございます。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(河野 巧)

同じく、その上2つ、16番の老人憩いの家、施設改修なんですが、昨年まで言ったと思うんですが、3件ですと100万円だと思うんですが、最大かかるところで、おいくら予定してますでしょうか。

◎高齢者支援課長(田中美智子)

河野委員のご質問にお答えいたします。今回、予算で組んでおります分については、藤田老人憩いの家の部分の屋根が、もう全体的に、傷んでおりまして、雨漏りもひどく、全体工事が必要ということで、ここについては、設計料も含めて、530万ほど予算を上げています。そのほか、床の補修や、空調などもありますし、躯体にかかるものもあります。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(川辺 隆)

子ども子育て課所管の33番、施設整備工事なんですけど下南保育園等の解体工事を行うようになってますが、そもそもこれ解体工事よりも、その後の土地の有効利用が問題視されてたと思うんですけども、その計画を教えてください。

◎子ども子育て課長(尾本 浩)

川辺委員のご質問にお答えいたします。現在跡地の利用につきましては、まだ計画がなくて、とりあえず老朽してる建物を、解体をして更地にするということで、跡地利用についてはその後、検討するというふうになっております。

○委員(川辺 隆)

そういうことはこれ、土地の件に関しましては当時、幼稚園を建てる関係上、地区の人から寄付を、ご支援をいただいて建てた土地なんですけども、公有地としての跡地利用を考えなんですね。

◎子ども子育て課長(尾本 浩)

川辺委員の質問にお答えいたします。もともとあそこの土地が、3人地権者がおりまして、今現在はその方たちから、市が寄付をいただいて、或いは売買で今、市の土地にはなっております。今後のその跡地利用につきましては、方針は決まっておりますけど、まずお三方に、意向があるかどうかも含めて、1回ちょっと聞いてみようかなとは思っておりますけど。そこら辺もまだはっきり方針は決まっていないところでございます。

○委員(川辺 隆)

そもそものが、公有地としての考え方でおられるんですかという質問です。

◎財務経営課長(荻野浩一)

委員の質問にお答えします。先ほど尾本課長からちょっとお話がありましたけども、もともとあそこは3人の方から、保育園を建てることに対して寄付を受けてます。まずは、その3人の方にお話しに行きたいと。意向というか、あれば、お返しをしたいと、公有地としての考えかたなんですけども、隣接に、下田住宅もあります。もし仮に、3人の方はもういいですよ。というような話になれば、下田住宅のほうもかなり老朽化しておりまして、今回の一般質問においても、あそこの建物が危ないということで、荒田住宅かあちらのほうに、早めに転居するようなことも今、アクションを起こしますので、そうなれば、下田住宅も更地になると。その上で、うちが寄付を受けている3人の方が、意向として、返してもらわなくて結構ですということになれば、もう一度公有地としての活用。もしくは、最終的には、売買ということにもなろうかと思っておりますけど、まずは、寄付を受けてる3人の方に、お話に行って、市としては、3人の方が要望すれば、お返しをしたいというふうに考えております。

○委員(川辺 隆)

一つ考え方をお伺いしたいんですけども、市が事業をするときに地権者の方から、事業目的に対する寄付をいただいたというご説明が今あって、寄付をいただくということはその間の税金とかは、全部行政が負担するということです。また、中には売買用地も入ってましてそれに付随する土地を

購入まで一応してますよね。その中でその利用目的が終わった時に寄付行為にあたって一度こっちが取得したものを、利用目的だったら本人たちの意向を聞くとか本人たちのお返しするとかいうことを、当初から明記されてたんですか。

◎財務経営課長(荻野浩一)

川辺委員のご質問お答えします。市の条例の中に、そういった目的を持って寄付した土地について、用途がもう廃止された。目的がもうなくなったっていう土地については、お返しすることができる。というふうなことでなっておりますので、まずは、目的を持って寄付された方々に対しまして、お話しに行きたいなというふうなことであります。

○委員(川辺 隆)

ということは、臼杵市にそういう土地はまだたくさんございます。極論言ったら、旧臼杵保育園跡地とか、塩田の分も当時臼杵市のためにということで、教育関係に寄付された建物、たくさんありますから、その土地一つ一つ今みたいなことをおっしゃるんですね。今後も。

◎財務経営課長(荻野浩一)

川辺委員のご質問にお答えします。今後すべて、そういったことということではないんですけども、今回についてはそういう形で、うちとしては、進めていきたいというふうに思っております。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(河野 巧)

特にどの課も大変だと思うんですけども、福祉等については、困りごとがある方が年々増えてきているんじゃないかなと思います。その中の一番気になるのは対応する職員の方が、今の現状で足りているのか。全体になっちゃうんですけど。委託した時の社会福祉協議会の方々は、人員的に足りてるのか。というのがちょっと心配なんですけども、中でも46番、地域生活支援事業、移動支援、相談支援等、この予算内でやってるというお話だったんですけども、これは、例年増えてるのか減ってるのか。移動支援、相談支援を課内だけでやられているのか、どちらかに委託してるのか。お願いします。

◎福祉課長(大戸敏雄)

河野委員の質問にお答えいたします。福祉関係で多くの方々が相談に来て、職員が足りているかという質問だろうと思います。お答えの中身につきまして、少し分けてお答えをしたいというふうに考えております。まず46番の地域生活支援事業、こちらにつきましては、障がいのある方に対する相談や、移動支援等々になるところでございまして、専門的な分野の相談になるということで、委託をしているところでございます。障がいのある方々への相談等につきましては年々、若干ではありますが各ご本人、またはご家庭のご家族の方々からの相談は、増えているというような状況でございまして。現在、委託している業者の中で、その分につきまして対応はできているところであります。そして、福祉全般に対する、様々な福祉関係のご相談というところであります。現在、社会福祉協議会のほうで、総合相談と言うような形で相談を受け付けているところでございます。コロナ禍で特

にお金の面とかで、非常に収入が少なくなって、明日の生活費がという相談も、増えてはいるところではありますけども、配置対応する職員は社会福祉協議会がメインで対応は現在していただいているところではありますが、概ね対応はできてるといふふうに考えております。相談が多すぎて、ちょっと今日はできない。というような対応はございません。以上であります。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。以上で福祉保健関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。ここで換気のため5分間休憩いたします。

午後1時42分 休憩

午後1時47分 再開

○委員長(戸匹映二)

次にインフラ関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎都市デザイン課長(小坂郡師)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 30～33ページに基づき説明)

◎建設課長(高野裕之)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 31～34 ページに基づき説明)

◎上下水道管理課長(齋藤隆生)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 32～35 ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります、次は挙手をもってお願いします。

○委員(河野 巧)

概要説明資料の32ページ目です。歳出の4番、都市デザイン課の立地適正化計画策定委託料。昨年度から、今年度ってことで、2カ年で終了する予定でよろしかったでしょうか。それとも、毎年何かこういうのは、作っていく委託料になるんでしょうかお願いします。

◎都市デザイン課長(小坂郡師)

河野委員のご質問にお答えします。立地適正化計画、これにつきましては、昨年度から着手というふうに、先ほど説明しましたが、来年度まで、3カ年で計画策定を行うものとなっています。以上です。

○委員(河野 巧)

ありがとうございます。それと、33ページ、歳出のナンバー15番、子育て高齢者世帯リフォーム支援事業補助金ってことで、これまでも他の福祉部門だったり総務部門だったりいろいろ、移住定住を含めて、リフォームの費用、臼杵市として取り組みがあると思うんですけども、なかなか分かりづらいというか、利用する側からすると、県の補助も、これも入っていると思うんですけど、使いたいと

きに例えば三世代同居支援型ってなりますと、玄関二つ作らないといけないとか、風呂を二つ作らないといけないとか、トイレ二つ作らないといけないとかですね。なおかつ、耐震化してない部分については、耐震化もしないと補助が出ないっていう。ちょっと使いづらいので、これまでの実績はどうなっていますでしょうか。

◎都市デザイン課長(小坂郡師)

河野委員のご質問にお答えします。過去5年間でよろしいですかね。子育て支援型につきましては、平成29年度から令和3年度まで、3件、1件、6件、3件、5件。となっています。三世代同居型につきましては、同じく平成29年からは0件、1件、0件、1件、0件。高齢者、バリアフリー型、につきましては、29年度からは、2件、1件、2件、3件、1件、となっております。以上です。

○委員(河野 巧)

ありがとうございます。ちょっと伸び率が少ない三世代同居型については、移住定住も含めたとき、やはり一番ありがたいのは、ご高齢の方を、ご家族の人が見れる状況だったり、子育てをするのに大変な若夫婦に三世代で、お父さんお母さんが見るとかいうふうなのを促進したほうが、臼杵市としても、移住定住に取り組めるし、経費も言い方は変ですけど、浮いてくるんじゃないかなと思います。そう考えたときに、ここの重点を増やすためには、担当課はどうしたらいいと思っているのが1つと、これは県の事業なので、県に向けて、改良をお話されているのか、その辺をお願いします。

◎都市デザイン課長(小坂郡師)

河野委員のご質問にお答えします。今、河野委員が言われるように、三世代につきましては、過去5年間で、2件の申請しかございません。三世代同居っていうのが、やはり今の実情になかなかそぐわない、難しいのかなと。ただ、こういったリフォームの支援事業がありますので、担当課とすれば、これを活用していただいて、リフォームをしていただきたいと。活用については、やはり市報とか、ケーブルテレビとか利用して、広報していくしかないのかなと思っております。以上です。

○委員(河野 巧)

もう1点、県に対して県の補助金なので、臼杵市として働きかけて、もう少し条件緩和できないかなと、その辺は難しいでしょうか。

◎都市デザイン課長(小坂郡師)

河野委員のご質問にお答えします。県のほうのお願いにつきましては、やはり、県の補助金であって、大分県下、全市町村が同じ形でされてますので、やはりなかなか臼杵市独自でということはちょっと、厳しいのかなと思っております。ただ、県下のこういった会議の意見交換会の中では、もう少し使いやすいように、というのは、お願いしていきたいとは思っております。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。以上でインフラ関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。ここで換気のため5分間休憩いたします。

午後2時19分 休憩

午後2時24分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。次に産業関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎政策監(佐藤一彦)

それでは産業関係の重点事項について各課より説明をいたします。よろしくお願いいたします。

◎産業促進課長(佐藤忠久)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 36～43ページに基づき説明)

◎おもてなし観光課長(中尾 敬)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 36～40 ページに基づき説明)

◎農林振興課長(目原康弘)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 36～43ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で産業関係の説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもって願います。

○委員(河野 巧)

38ページ産業促進課で、2点質問させてください。38ページの9番、食文化創造都市推進事業ということで、予算額の概ね6割ぐらいが旅費に計上されてます。この旅費の概ねの内訳でも構いませんし、何人で行かれる。というのが分かればお願いします。それと、39ページの、20番。まちなかにぎわい創出事業というところで、厨房機器のリース178万3,000円があるんですが、40ページの21番。備品購入費で、リースが満了になるので購入するという金額があるんですけど、これとこの20番の長期リースとどういうふうに違うかの説明をお願いします。

◎産業促進課長(佐藤忠久)

河野委員のご質問にお答えしたいと思います。まず、ナンバー20のサーラデうすきのリース料のことについてでございます。このリース料につきましては、来年の9月までで、リース期間が満了するということになっておりますので、その間のリース料を計上いたしまして、それ以降につきましては、基本的には再リースせず買い取りをしようというふうなことで、ナンバー21で買取の備品購入費を計上させていただいたということでございます。以上であります。

◎政策監(佐藤一彦)

河野委員の質問にお答えします。食文化創造都市推進事業のうちの旅費140万0000円についてですが、これ行き先は、総会が、創造都市ネットワークの総会が予定されております。ブラジルのサントスへ行く職員1名分であります。計8日分の旅費を、計上させていただきます。ちなみに去年、

一昨年、コロナ禍で、サントスで開催される予定だった総会は、延期となっております。以上でございます。

○委員(河野 巧)

関連で再質問です。9番の食文化創造推進事業の毎年、世界大会が行われるということで、職員1名分の費用ということなんですけど、1名分で足りるのか、要は継承っていうか、続けていかないといけないと思うので、その1名行ったほうが、次の人に伝えるのに、せめて2名行って、誰かが引き継いでいくようにしていったほうが、いいのかなと思うんですけども、1名分でいいのかどうかの質問です。

◎政策監(佐藤一彦)

総会には、まだ予定ではございますが、市長、そして職員、そして食文化創造都市推進協議会の事務局長。3名で行くことにしております。市長は秘書・総合政策課のほうから旅費を組んでおります。

事務局長については、この食文化創造都市推進協議会の事業の中で、1名分充てられるということで充てております計3名でいく予定としております。以上でございます。

○委員(内藤康弘)

2点質問させていただきます。歳出の47番ねぎの100億円プロジェクトですが、先ほどの説明で15名の方がということでした。臼杵市に3ヘクタールの割り当てがあったと思うのですが内容を教えてください。もう1点は土づくりセンターの堆肥の件です。昨年、一昨年ほどから堆肥の供給量が不足して、今年に至っては全く足りなかったというような状況で、使う人が、佐伯とか、そっちのほうから購入していかれたというような状況になってます。これを何といいますか、クリアするために今回の回収に当たるのか、その辺をお聞かせください。

◎農林振興課長(目原康弘)

内藤委員のご質問にお答えします。まずナンバー47、ネギの推進につきましては、現状でまだ確定までは至っておりませんが、一応目標値は3ヘクタールということでございましたが、今現在、確認が取れてるといいますか、要望が上がってるのが2.7ヘクタールということで、今後も推進しながら、事業に取り組んでいきたいというふうに考えております。

◎農林振興課参事(竹尾智明)

内藤委員の質問にお答えいたします。土づくりセンターの施設整備事業でございますが、内藤委員ご指摘の通り、生産量を増加させるためには、計画的な施設整備が必要であろうというふうに考えております。しかしながら、今回挙げさせていただいてます施設につきましては、導入してから13年という経過をしておりますので、一部、経年劣化が著しいというところもございますので、今回、整備をさせていただきまして、来年度の増産に向けて頑張っていきたいというふうに考えております。以上です。

○委員(内藤康弘)

はい。ありがとうございます。重機が1,300万円なんですけど、この重機は、最初の資材をかくは

んする重機ですか。

◎農林振興課参事(竹尾智明)

内藤委員の再質問にお答えします。その通りでございます。かくはんする、ホイールローダーでございます。以上です。

○委員(内藤康弘)

すいません。ちょっと質問の仕方が悪かったです。今までのよりも容量が大きいんでしょうか。

◎農林振興課参事(竹尾智明)

いえ、今までと同額の量でございます。

○委員(内藤康弘)

ありがとうございます。今までと同じでしたら、あんまり変わらないのかなと思うので、今後は、もう少し大きいのを計画したらいいのかなと思いました。前のやつも、今回入れるやつも同時に使うのなら別にいいのかなと思いましたけど。今後、検討していただきたいなというふうに思います。ネギの件なんですけど、甘ネギを作っていた生産者がおりますよね。その方々も白ネギに転換するという認識ですか。

◎農林振興課長(目原康弘)

基本的にはこの事業につきましては新規、あるいは、規模拡大ということで、今検討を進めてるところでございます。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(奥田富美子)

39ページ、歳出の15番です。八丁大路のLED化ですが、今の暖かい色の外灯、雰囲気がいいなと思ってるんですが、LED化に向けて、色合いとか、地元から希望が出たりしてますでしょうか。雰囲気をこう変えたいのか守りながらLED化したいのかを知りたいです。

◎産業促進課長(佐藤忠久)

奥田委員のご質問にお答えいたします。今回LEDの改修につきましては、実はもう整備いたしまして結構年数が経っておりまして、補修する機械が、もう製造できないというようなこともありまして、今回LED化というふうな方向に打ち出したということで、地元のほうから要望書が出ております。私どもといたしましてもオレンジ色の明かりっていうのはやはり保っていきたいというふうに考えておりますが、まだ同じ色ができるかどうかっていうのは、今のところ明確なものは出ておりませんけれども、市といたしましてはオレンジ色に近い明かりで整備をしていただきたいというふうに考えているところでございます。以上であります。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんか。

○委員(梅田徳男)

漁業振興の関係で、稚魚放流というのを毎年やられていますけども、ここでどの程度の稚魚の放流になるんですか。基本的には。

◎産業促進課長(佐藤忠久)

梅田委員のご質問にお答えいたします。稚魚放流といたしまして、今考えておるのは、まず、クルマエビ、赤ウニ、アワビの放流、これは海でございます。あとそれ以外に河川のほうでは、鮎、スッポン、鰻、モズクガニを河川のほうで放流したいというふうに考えているところでございます。以上であります。

○委員(梅田徳男)

放流後の成果っていうのはどんなふうに捉えていますでしょうか。

◎産業促進課長(佐藤忠久)

まず、河川に関しましては、鮎、スッポン、鰻、モズクガニつきましても放流しています。そこら辺が、どれだけ大きくなったか、また帰ってきたかっていうのは定かではございませんけども、海のもの、エビに関しましては尻尾に切れ目といいましょうか、放流したのが分かるようなやつを切って、放流しておりますので、ただ、どれだけ上がったか数値に関しましては、まだ調査中で今把握はしていないところでございます。分かるようにしているということでございます。以上であります。

○委員(梅田徳男)

漁協と相談されて、その業種というか、放流する。エビとかは決めているわけですね。

◎産業促進課長(佐藤忠久)

梅田委員のご質問にお答えいたします。魚種に関しましては漁協、また県のほうと相談いたしまして、これがいいだろうということで、放流しておるところでございます。以上であります。

○委員(梅田徳男)

成果あるものを、形で残すというか成果を上げていただくということで、引き続きよろしくお願いいたします。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(河野 巧)

43ページ目のナンバー62番、有害鳥獣対策事業補助金ですけども、結構、山のほう、イノシシ、シカ、サル、小動物います。被害も多くなってると思うんですけども、以前は捕獲したあと、ジビエ等を料理で使う人なんかに、調理の促進とか、料理で使ってもらえませんでしたのも、事業としてあったと思うんですけども、令和4年度は、こういう対策事業は、捕った後の処理のほうの事業は何か検討されていますでしょうか。

◎農林振興課参事(藤澤清巳)

河野委員のご質問にお答えいたします。従来通り対策、有害鳥獣対策事業につきましては、捕獲した獣に対しての報奨金のみで、ジビエ関係のとか、補助とかは、特に考えておりません。ただ、ジビエ

工として調理する場合には手数料の捕獲よりも通常よりは、報奨金を2,000円程上げております。
以上でございます。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。以上で、産業関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。ここで10分間休憩いたします。

午後3時00分 休憩

午後3時13分 再開

○委員長(戸匹映二)

それでは再開をいたします。次に契約検査課の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎契約検査課長(藤原裕次)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 44ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました、これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上で契約検査課の議案質疑を終わります。

続きまして、会計課の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎会計課長(藤原裕次)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 45ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員長(戸匹映二)

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上で会計課の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。

休憩いたします。

午後3時15分 休憩

午後3時16分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。次に、教育委員会事務局の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎教育総務課長(後藤誠也)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 46～48ページに基づき説明)

◎学校教育課長(後藤徳一)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 46～49ページに基づき説明)

◎学校教育課参事(麻生幸誠)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 46～49 ページに基づき説明)

◎社会教育課長(川辺宏一郎)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 46～50ページに基づき説明)

◎文化・文化財課長(後藤昌二郎)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 46～52ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で、教育委員会事務局の説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもって、お願いします。

○委員(河野 巧)

ありがとうございました。48ページ14番、学校教育課のデジタルドリル教材使用料の中で、児童生徒はタブレットでレンタルドリルをされるというご説明なんですけども、提出する時には、先生方もデジタルで、採点を行うのか。そういった時に先生方のシステムは準備できてるのかをお願いします。

◎学校教育課参事(麻生幸誠)

河野委員のご質問にお答えします。デジタルドリルについて、これはクラウド式がほとんどでありまして、先生も、学校や家にいながら、今子供たちがどの程度、宿題取り掛かっているか。あと、その内容を、間違っているか。すべてクラウド上で確認できるようになっております。当然今までは、保護者の皆さんとか先生方が採点をしていたんですけど、回答と同時に集計が、行われますので、集計も先生方しなくていいということで、先生方の働き方改革にもと考えております。

○委員(河野 巧)

進みが速くてこっちがついていけない感じなんですけども、若干心配なのが、先生と生徒と、保護者、前までは、先生が大変だからっていうのもあったんでしょう、保護者の方が採点をしたり、とかいうのを学校の中でお願いがあって、やってると聞くんですけども、その辺は今後なくしていくのが1点とですね。それと、関連なんですけど15番、電子黒板導入モデル事業ということで、モデル校が、臼杵地域は、小学校中学校、各1校なんですけど、野津地域は中学校のみになってます。そうした時に、学力テストとかを見ると、小・中、合わせてしたときに、校区っていか小・中一貫じゃないんですけども、同じ地域で、子供たちが小学校から中学校に上がるときの連動する中で、統計取ら

れたほうがいいのかなという。できれば野津のほうも、小・中に導入したほうがいいのかなと思ったんですが、それはどうでしょうか。

◎学校教育課参事(麻生幸誠)

河野委員のご質問にお答えいたします。このモデル校の選定については、中学で2校にしていますのは、中学受験を控えて、義務教育を終えてしまう前でもありますし、高校受験もありますので、臼杵、野津1校ずつ、試行したいと。小学校については、電子黒板をより活用できる学校に入れたいということで、想定は一番進んでる学校、使ってくださる先生方のレベルにもよるんですけども、それを選定したいと考えておりますので、今おっしゃられた小・中一貫というところをとというのも、また配置の時に今後検討はさせていただくのですが、とりあえず扱えないところに、置いても検証できないので、ちょっと先進的な学校に入れたいということで、このように考えております。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(奥田富美子)

1点お願いします48ページの歳出の12番です。ALTの派遣委託料ですが、この事業は国の事業だったと思うんですけど、コロナにおいてその海外からの渡航が難しく、なかなか、雇えなかったから民間にお願いする。ということなんだと思うんですが、民間にお願いする。これは、1人分と考えていいのか、委託料と考えていいのかということと、今年度は全体でALTの派遣人数は何人を予定してますか。

◎学校教育課長(後藤徳一)

奥田委員の再質問にお答えいたします。今、奥田委員から話があったように、必ずコロナ禍においても人材を保障というか、確保するために、委託を行いました。2名分を予定しております。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんか。

○委員(大塚州章)

ちょっと教えていただきたいんですけど、先ほどのタブレットの件でデジタル化が進む中で、すごく先生たちの労力も省かれて、大変いいことだと思います。その際に例えば、昔、手で先生が丸をつけた頃に、特に後藤学校教育課長もそうだと思うんですけど、採点してる時にこの子の、こういう間違っ癖があるな。とか、ここはこの子はこういうふうな指導したほうがいいな。というのを、採点しながらやってたと思うんですけど、そういう関係の、生徒に対して情報を拾い集める。というのは、何か別な機会でもたやったりとか、普通の他の授業でこう拾い集めたりとか、そうやって、子供の一人一人の特性を、拾い集めるということに対して何かあれば教えていただければと思います。

◎学校教育課参事(麻生幸誠)

大塚委員のご質問にお答えします。ご指摘の通り、デジタルドリルで、ある児童生徒が間違っ問題というのは傾向が、集計で紙ドリルより分かりやすいという点があります。このデジタルドリルで

は、先生が、採点結果を見て、この子はこういうところが弱いなということで、こっちの別の問題もやってみてというところが、より集計がスピーディとか分かやすいというところはあると思います。まだデジタルドリルを導入したからといって、すべて紙ドリルがなくなるというわけでもありませんし、使いわけです。より効率の良いほう、多分先生方は使っていかれるんだろうなというように考えております。紙ドリルより、確実にリアルタイムでの集計状況は把握できる、今まで採点に要していた時間を、この分析に充てられるという点は、効果的だと思っております。

○委員(大塚州章)

ありがとうございます。要は間違いの傾向と対策が、デジタル化によって先生たちに、より分かりやすく、傾向と対策まで出るのかってというのはちょっと私が聞きたかったので、その辺のところの問題ですね。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんか。

○委員(河野 巧)

先ほどの関連ですけども、50ページの30番、放課後チャレンジ事業費の中で、タブレットの電子ドリル等普及していった場合ですね。こちらはまだ紙ベースでされていくのか、ここもデジタルにしていくのか、お願いします。

◎社会教育課長(川辺宏一郎)

河野委員のご質問にお答えいたします。放課後チャレンジ教室につきましては、現在まだタブレット化の予定はございません。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員長(戸匹映二)

以上で、教育委員会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。本日はこれにて散会いたします。

この続きは明日3月15日の火曜日、午前10時からこの全員協議会室で行いますので、よろしく願いいたします。

午後3時50分 散会

...

予算委員会 会議録

日 時 令和4年3月15日(火曜日) 午前10時03分 ～ 午前11時54分

場 所 臼杵庁舎2階 全員協議会室

出席委員の氏名

委員長 戸 匹 映二	副委員長 武 生 博明	委 員 河 野 巧
委 員 川 辺 隆	委 員 匹 田 久美子	委 員 内 藤 康弘
委 員 伊 藤 淳	委 員 梅 田 徳男	委 員 広 田 精治
委 員 奥 田 富美子	委 員 若 林 純一	委 員 長 田 徳行
委 員 久 藤 朝則	委 員 大 塚 州章	委 員 大 嶋 薫
委 員 吉 岡 勲	委 員 牧 宣雄	

オブザーバー

議 長 匹 田 郁

欠席委員の氏名

(な し)

説明のため出席した者の職氏名

政策監(福祉保健担当)	杉 野 等	消防本部消防長	亀 井 英樹
議会事務局長	平 山 博造	選挙管理委員会事務局長	林 昌英
		併監査委員事務局長	
財務経営課長	荻 野 浩一	消防本部総務課長	小 野 加寿男
農業委員会事務局長	吉 良 圭三	上下水道管理課長	齋 藤 隆生
上下水道工務課長	小 長 範幸	高齢者支援課長	田 中 美智子
おもてなし観光課長	中 尾 敬	消防本部警防課長	庄 司 哲宏

出席した事務局職員の職氏名

局長 平 山 博造 次長 後 藤 秀隆 副主幹 高 橋 悠樹 書記 大 井 智香子

傍聴者

(な し)

午前10時03分 開議

○委員長(戸匹映二)

おはようございます。ただいまから、昨日に引き続きまして予算委員会を開催いたします。本3月定例会では適切なマスク着用の徹底が、議会運営委員会で決定しております。本委員会では、昨日に引き続きまして議会運営委員会で決定したルールの厳守をお願いいたします。また、感染防止対策として、約30分ごとに換気休憩を、挟みます。若林議員マスクの着用をお願いします。本日は傍聴の申し出があった場合には、許可したいと思いますのでご了承ください。なお、一般会計と特別会計すべての説明と質疑終了後に、一般会計から順次、討論、採決を行いたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。若林議員。マスクの着用をお願いします。ただいま若林純一議員に対して再三適切なマスク着用のルール厳守を求めてきましたが、それに従わないため、委員会の秩序を乱すので臼杵市議会委員会条例第22条第2項により、本委員会からの退場を求めます。繰り返します。若林議員は、退場してください。若林純一議員に退場命令を出しましたが、いまだ退席していません。そのため、委員会としましては、議会から、付託を受けました議案審査を停滞させることはできないため、若林純一議員が、退席命令に従うことの有無に関係なく、このまま議事を進行いたします。それではこれより議事に入ります。昨日に引き続き、第21号議案、令和4年度臼杵市一般会計予算を議題といたします。臼杵市選挙管理委員会事務局より審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎選挙管理委員会事務局長(林 昌英)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 53ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上で、選挙管理委員会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。

続きまして、監査委員会事務局の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎監査委員事務局(林 昌英)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 54ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上で、監査委員会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。

休憩いたします。

午前10時06分 休憩

午前10時07分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。次に、農業委員会事務局の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎農業委員会事務局長(吉良圭三)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 55ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上で、農業委員会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。

休憩いたします。

午前10時08分 休憩

午前10時10分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。次に消防本部の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎消防本部消防長(亀井英樹)

それでは、令和4年度当初予算について、担当の小野総務課長から説明させていただきます。

◎消防本部総務課長(小野加寿男)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 56ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員(河野 巧)

56ページの歳出4番、消防施設整備費なんですけども、こちらに関連することで、防火水槽等、定期的に改修、新設していただいていると思います。その中、火災が発生したときに、防火水槽から水を引くんですけども、上水道が通っているところっていうのは、火災が発生した時っていうのは、上水から防火水槽に水が行くようになってると思います。そうした時に、その時の水の費用っていうのは、公共で賄われていると思います。しかし、地域のほう、田舎のほうに行くと、議会でも質問したよう

に水道がいったない地域、上水が行ってない、簡易水道等、自分たちで運営してるところがあると思います。そうしたときには、消火に使われる水っていうのは、公で賄うとこと、私で賄うところとか、現在分かれてると思います。その辺については、どうお考えなのかっていうのを、質問させていただきます。

○委員長(戸匹映二)

休憩します。

午前10時13分 休憩

午前10時15分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。

◎財務経営課長(荻野浩一)

ただいまの河野委員のご質問につきましては、当初予算のほうと、直接関係がないというふうに判断しますので、後ほど報告をしたいと思います。

○委員(河野 巧)

当初予算に入っていないという説明だったんですけども、予算の考え方として、消防本部として、そういった水利の関係の予算は、確保していないのでしょうか。

◎消防本部総務課長(小野加寿男)

河野委員のご質問にお答えします。先ほどの水道料金等については、消防本部での火災現場での水の使用については、消防本部では確保しておりません。以上です。

○委員(内藤康弘)

防火用水の件なんですけど4番ですね。各、防火用水があって蓋を随時する工事をやってると思うんですが、もうやらない防火用水やる防火用水。分けておるんですか。できれば、すべての防火用水に蓋をしていただきたいなというふうに、思うんですけども。その辺の考え方はどうでしょう。

◎消防本部総務課長(小野加寿男)

内藤委員のご質問にお答えします。現在、野津地域で、無害の防火水槽が、残り38ですかね。令和4年度で3器いたしますので、これにつきましては、水利として有効利用をされるもの、それから人家、そういったものを総合的に判断して、必要性の高いものから、整備を進めているところでございます。地区の要望等ございましたら、また見直し等を、させていただきたいと思います。

○委員(内藤康弘)

地域の要望があれば、やるということで、なければやらないということで、あんまりその安全性云々関係ないとは、もうやらないという判断ですね。

◎消防本部総務課長(小野加寿男)

内藤委員のご質問にお答えします。内藤委員の言われるように、危険度の高いところ、優先的に実施をさせていただいてるところでございます。

○委員(内藤康弘)

ありがとうございました。要するに、人の安全性を云々と別のこともありますので、後日伺います。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(奥田富美子)

歳出の2番です。器具費ですが、870万円の内訳を教えてくださいたいのと、ドローンですが、災害時に使用というふうに、説明があったかと思うんですけど、私の知識の中では、雨の日や強い風の時には、ドローン、飛ばないという知識しかないので、今どきのドローンはどのようになっているのかと、導入については、初めてだったのか、何台目だったのかすみません合わせてお願いします。

◎消防本部総務課長(小野加寿男)

私のほうから、奥田委員の器具費の内訳についてご説明させていただきます。器具費の中で職員の防火衣ですが、これが130万円。それから、保安帽そういったものが15万円と、救急車積載用のAEDが97万4,000円です。そのほかに、消防のホースだったり、空気ボンベ、それから潜水用の器具、こういったものを含めての金額になります。ドローンの活用等については庄司課長のほうから説明させていただきます。

◎消防本部警防課長(庄司哲宏)

奥田委員のご質問にお答えいたします。ドローンについてお答えいたします。今回計上させていただいている、ドローンにつきましては小型高性能のものを要望させていただいております。中身につきましては、赤外線カメラで夜間も使用できるもの。また上空からの放送で、避難誘導等にも使えるという機能。あとZoom機能がありますので、救援ポイント等のサイン旗の確認に使用できると。そういったことで災害時に使えるというふうに考えております。また、委員ご質問のように、雨天、風が強いときや雨の日には使えません。そういったものもあるのですが、操縦が難しいのと、金額がかなり高額になりますので今回のものではちょっと対応できないというふうに考えております。また台数につきましては、今現在消防本部で所有しておりますのが、消防本部で購入したものが1台、それと寄贈していただいたものが1台、今回ので3台目ということになります。以上であります。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(梅田徳男)

軽救急自動車なんですけど、狭い道が多い中で非常に活躍してくれるんだろうと思うんですけど、本来の救急車とは設備機能が大幅異なるんですか。

◎消防本部警防課長(庄司哲宏)

梅田委員のご質問にお答えいたします。今回計上しております軽救急車につきましては、やっぱり、軽自動車でございますので、車の容積にやっぱり限界がありますので、高規格救急車ほどの資機材は搭載できておりません。しかしながら、できる限り、救命率を上げるために、高機能な資機材を投入予定としております。以上であります。

○委員(梅田徳男)

本来の救急車と一緒に出動して、軽救急車をそのまま根本的に使うとかいうそういう役割も果たすんですか。

◎消防本部警防課長(庄司哲宏)

梅田委員のご質問にお答えいたします。委員ご指摘の通り、高規格救急車と同時出動、いわゆるペア出動いたしまして、ケース事案に応じまして、高規格救急車で搬送するもの、また、軽救急車で搬送するもの、そういった形で使い分けをしていこうというふうには考えております。以上であります。

○委員(梅田徳男)

本当に有効に活用していただきたいんですが、併走するということになると、職員の数にも影響するような感じもするんですけども、その辺はお考えですか。

◎消防本部警防課長(庄司哲宏)

梅田委員のご質問にお答えいたします。委員ご指摘の通り、ペア出動となりますと、消防職員の人数、隊員の人数に影響してくるのは、これはもう事実でございます。ということから消防といたしましては、臼杵の本署と、野津の分署、こちらの最低人員の変更を行って、導入を臼杵本署のほうに考えておりますので、臼杵本署のほうに同意をして、消防職員の実数自体は変更はございませんが、中の内訳を変更して対応していこうというふうに考えております。以上であります。

○委員(梅田徳男)

是非とも有効活用をお願いします。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。以上で消防本部の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前10時 23 分 休憩

午前10時 28 分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。次に、議会事務局の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎議会事務局長(平山博造)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 57ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員(河野 巧)

2点お願いします。57ページの3番、共済費議員分ということで、議員年金が廃止されてもう、何年もたつと思うんですけども、この決まった金額っていうのが毎年来るのか、それとも何名分とかいうのが決まってるのかもう少しご説明お願いします。それと9番目、議会CATV放送業務委託料ですけども、現在は約1週間後に再放送というか、放送が遅れて行われたと思うんですけども、コロナ関連で、傍聴も人数、多く入れないっていうのもありますし、別室で生放送もしていますので、そもそも生放送ができないのか、この予算に入るのか、その辺の説明をお願いします。

◎議会事務局長(平山博造)

3番の地方議会議員年金廃止制度に伴います、議員共済給付費負担金でございます。この内訳を説明いたします。二つに分かれておりまして、市議会議員共済会事務負担金としまして、年額1万3,000円の18名。23万4,000円。これが一つでございます。これが事務負担金でございます。もう一つが給付費の負担金で地方公共団体負担分ということで34万円、報酬の金額×18人×12ヶ月の100分の33.2、これが2,364万7,000円。これを合わせた金額が、ここの負担分となっております。失礼いたしました。100分の32.2をかけた分のものでございます。これが1点目でございます。2点目のケーブルテレビの生放送につきましては、これは議員皆様方で議論していただいて、現場との機械的なことが可能であるかどうか、そういったことが課題であろうかと考えております。以上であります。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。以上で、議会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。ここで5分間休憩いたします。

午前10時32分 休憩

午前10時44分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。ここで執行部より昨日の答弁についての補足説明の申し出がありましたので発言を許可いたします。

◎財務経営課長(荻野浩一)

発言の許可をいただきありがとうございます。座って説明いたします。昨日、下南保育園の跡地の利活用の件で、川辺委員とのやりとりの中で、私が説明をさせていただきましたけども、若干説明

不足の点があったというふうに感じておりますので、改めて説明をさせていただきます。まず一般的な考え方なんですけども、公共用地、建物を含んだものなんですけどもそういったものが、最終的には用途が廃止されたとなれば、まずは用途廃止の手続きを行います。その後において、土地建物を含めて、当然、公共施設としての利活用を検討していくということが大前提としてあります。まずそこは検討した中で、なかなか公共施設としての利活用が見いだせないと言った場合は、土地取得の経緯も含めて、それが寄付された土地であれば、寄付した時の経緯も含めて、検討した上で、必要というふうに判断された場合には、起業された方々の意向を確認していきたいということであります。以上であります。

よろしくお願いします。

○委員長(戸匹映二)

以上で補足説明が終了いたしました。

休憩いたします。

午前10時46分 休憩

午前10時47分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。次に、各特別会計の議案審査を行います。この審査の順番は、所管課ごとに、議案番号順で行いますのでよろしくお願いします。それでは初めに、上下水道管理課及び上下水道工務課所管の議案審査を行います。第22号議案、令和4年度臼杵市水道事業会計予算を議題いたします。執行部の説明を求めます。

◎上下水道管理課長(齋藤隆生)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 58～59ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員(広田精治)

一点お聞きしますけど、インボイス制度が導入された後に、水道事業で経費として支出されている取引先の事業者のうち、免税業者から課税業者の選択を迫られるような、事業者がどれぐらいおられますか。把握されていればお願いします。

◎上下水道管理課長(齋藤隆生)

広田委員の再質問にお答えします。今回のインボイス制度そのものの、課税事業者か非課税事業者かという部分につきましては、制度上、各業者が登録をしなければならないということになっております。この点もありますので、私どもとしては、まだ課税事業者がどのぐらいいるか、非課税事業者がどのぐらいいるかってことはちょっと把握が今できておりません。

ただ、消費税の制度上、今回の制度でいくと、非課税になる業者がいらっしゃると、水道事業としては、税の支出が逆に増える傾向がありますので、制度上では、そういったことはちょっと控えるというか、極力皆さん方の登録をとという形になっておりますので、主な取引業者がありましたら、この辺の登録については、お願いしたいなというふうには考えているところです。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(広田精治)

その数はまだ把握されてないんですよね。

◎上下水道管理課長(齋藤隆生)

広田委員の再質問にお答えします。数は把握しておりません。登録事業者については、国のほうが、ホームページ等で公表すると、確認できるということになっておりますが、まだ制度の開始まで若干時間がまだありますので、今の段階、制度、正式な開始は令和5年の10月、だったというふうに記憶しておりますので、まだ把握まで行っておりません。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

○委員(河野 巧)

59ページの歳出、4番と5番、補償費と用地購入費ですけれども、この事業でどれぐらい広さが、広くなるのか。説明をお願いします。

◎水道事業所長(小長範幸)

河野委員の質問にお答えいたします。用地購入費の面積ということですが。大体2,000平米を予定しております。補償費としましては、現在購入する予定の土地に立木、柿とかイチヨウとか、諸々ありますので、そういう補償費を計上しております。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上で、第22号議案についての質疑を終わります。次に、第23号議案令和4年度臼杵市下水道事業会計予算を議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎上下水道管理課長(齋藤隆生)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 60～67ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上で、第23号議案についての質疑を終わります。続きまして第25号議案、令和4年度臼杵市

浄化槽整備推進事業特別会計予算を議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎上下水道管理課長(齋藤隆生)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 69ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上で第25号議案についての質疑を終わります。以上で、上下水道管理課及び上下水道工務課所管の質疑を終わります。ご苦労さまでした。ここで10分間休憩いたします。

午前11時18分 休憩

午前11時28分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。次におもてなし観光課所管の議案審査を行います。第24号議案、令和4年度臼杵市石仏特別会計予算を議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎おもてなし観光課長(中尾 敬)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 68ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。次は、挙手をもってお願いします。

○委員(河野 巧)

68ページの歳入一番、観覧料ですけども。さっきのご説明のようにコロナ禍で、なかなか入館者が少ないっていうのは見受けられていますが、今回例年よりは、7割程度で計算されたということで、最近では修学旅行のほうも、以前とは違って、県内で行うところも増えて来たと思うんですけど、現状どんな具合なのかご説明いただければなと思います。

◎おもてなし観光課長(中尾 敬)

河野委員の質問にお答えいたします。現在コロナ禍の影響もありまして、一般入場者のほうは減っております。そして何とかしないといけないということで、修学旅行の誘致に力を入れております。

そして、特に今年度は観光協会が、まなび旅というものを企画いたしまして、修学旅行の誘致に努めております。今年度は中学校3校、高校1校の修学旅行の誘致をいたしております。合計ですと980名の生徒さんが、石仏とか市内のほうに来ていただくというふうな情報を得ております。それを、利用いたしまして石仏のほうにも、ぜひ見学にも来ていただきたいというふうなお願いを、学校及びエージェントのほうにもいたしております。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。以上で第24号議案についての質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前11時30分 休憩

午前11時32分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。次に、保健健康課所管の議案審査を行います。第26号議案 令和4年度臼杵市国民健康保険特別会計予算を議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎保険健康課長(杉野 等)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 70～71ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は、挙手をもってお願いします。

○委員長(戸匹映二)

以上で第26号議案についての質疑を終わります。続きまして、第28号議案、令和4年度臼杵市後期高齢者医療特別会計予算を議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎保険健康課長(杉野 等)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 74ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

(なし)

○委員長(戸匹映二)

以上で第28号議案についての質疑を終わります。以上で、保険健康課所管の質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前11時40分 休憩

午前11時41分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。次に、高齢者支援課所管の議案審査を行います。第27号議案、令和4年度臼杵市介護保険特別会計予算を議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎高齢者支援課長(田中美智子)

(令和4年度 当初予算の概要説明資料 72～73ページに基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は、挙手をもってお願いします。

○委員(河野 巧)

73ページの、4番、5番、6番、7番。居宅介護、施設介護、それぞれ例年よりも、コロナの関係で、実績から見てもだいぶ控えているっていう話も先ほどあったと思うんですけども、そういった部類で、軒並みアップされているのが1点。それと、12番の包括的支援事業、こちらのほうはあまりアップしてないので、その差を、ご説明をお願いします。

◎高齢者支援課長(田中美智子)

河野委員のご質問にお答えいたします。介護給付費の増加の分の理由になりますが、最近、介護認定につきまして、要介護認定者数については、横ばいで進んでおりますが、要介護3から5の方が徐々に増えてきております。これは介護サービスが必要な75歳以上の方の増加となっているように思われます。居宅サービスの部分につきましても、利用者が増えておりますし、施設サービスのほうについても増えております。それに従いまして、計画のほうも増加をいたしますので、増えていっているというような状況でございます。すみませんちょっと休憩をお願いします。

○委員長(戸匹映二)

休憩いたします。

午前11時51分 休憩

午前11時52分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。

◎高齢者支援課長(田中美智子)

大変すいません、先ほどの河野委員のご質問の中の、歳出の12番があまり増えていないというようなご質問でしたが、事業自体はこれ、変化しておりません。包括センターの委託料などになりますので、給付費が上がるとかそういうことではないので、このような予算額となっております。以上です。

○委員(河野 巧)

ありがとうございます。考え方として、利用者が増えるとなれば、包括支援事業の事務量もアップするのかなと私は思ったんですけど、そこは関連が特にないんでしょうか。

◎高齢者支援課長(田中美智子)

河野委員のご質問にお答えいたします。介護サービスを受けるに当たりましては、居宅介護支援

事業所のサービス計画が必要となります。それで、要介護 1 から 3 の方が対象となってその部分が、上のサービス費で増えているんですけど、包括の場合は、要支援の1と2の方が対象になりますので、その方たちの部分については、あまり最近増えておりませんので、このような予算となっております。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。以上で、第27号議案についての質疑を終わります。以上で、高齢者支援課所管の質疑を終わります。

ご苦勞様でした。休憩いたします。

午前11時53分 休憩

午前11時54分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。これより、第21号議案、令和4年度臼杵市一般会計予算に対する討論に入ります。

○委員(河野 巧)

すいません、休憩の中でお話と思ったんですけど。

○委員長(戸匹映二)

理由を説明してください。

○委員(河野 巧)

議事録に載らないほうがいいかと思ったんですけど。昨日今日と、一般会計と特別会計の説明があったと思うんですけども、議会の運営方法として、昨日今日お話を聞いて、この後、討論・採決に行くと思うんですけども。以前、代表者会議の中でも一部話を出させてもらった中で、修正をお願いしたいとなった時には、ちょっと時間が足りないんですよ。修正動議とかを出す場合の。要するに修正できない場合っていうのは、もう反対討論しかできないものですから、その流れをどうしたらいいのかというのを教えていただきたいと思います。

○委員長(戸匹映二)

修正動議を出したいということですか。

○委員(河野 巧)

はい。

○委員長(戸匹映二)

それでは休憩いたします。

午前11時56分 休憩

午前11時59分 再開

○委員長(戸匹映二)

それでは再開いたします。これより第21号議案令和4年度臼杵市一般会計予算に対する討論に入ります。

○委員(広田精治)

私はこの当初予算について反対の討論を行いたいと思います。その理由は、マイナンバー制度に関する予算が含まれていること。それと、社会福祉総務費の中に、あってはならない不公正な予算が、計上されていることなどから反対します。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんか。

○委員(河野 巧)

環境課所管の施設整備工事費について、これまでもずっと設計のところからお話をさせてもらったんですけども、設計については担当課の説明の中で、赤字の部分の解消だったり、地域への説明だったり、その辺を私なりにお願いしてきたつもりで。それが前向きに進んでいるのであればと思ったんですけども、今回の説明の中でも質問した中で、あまり進んでないのかなと思いますので、建物を建てることについては、私は特段、計画が進んでいるのは、分かっているんですけども、赤字補填が埋まらない、今計画がない中で、この建設費まで計上することについては反対をさせていただきます。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんか。

○委員(内藤康弘)

賛成の立場で討論させていただきます。合併後、最大の予算編成でございます。中身を見ますと、個々の問題は別として、人口減少問題、あるいは産業振興、そういう部分に重点課題を置いております。またコロナの対応を、最重要課題として予算編成をしているような、理解をしております。特に農業関係においては、施設改良等の待望の予算編成をやっておりますので、そういうところも含めまして、速やかに通過させるべきであろうというふうな思いで、賛成の立場で討論をさせていただきます。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんか。

○委員(川辺 隆)

私も賛成の立場で討論いたします。環境課所管の予算編成についてですけれども、これはごみ処理施設誘致の時からのもとの約束事でもあり、また、このパークゴルフ施設そのものは、臼杵市民の健康増進、また長寿命化に繋がる事業の一環を有しております。臼杵市の公園整備、また維持費等は、年間約1,000万ほどの維持費がかかっておりますが、それに見合うだけの効果を発動する事業だと私は思います。よって、この予算編成に関しては、賛成の立場で討論させていただきます。以上です。

○委員(大塚州章)

私も賛成の立場で討論させていただきます。マイナンバーの予算については、これからの地方自治体のDX化に伴って変容する中で、昨日もコンビニでの交付等でありました。こういった中でやっぱり、マイナンバーは必要不可欠なものであると思いますので、賛成の立場で討論させていただきます。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

(な し)

○委員長(戸匹映二)

以上で討論を終わります。これより、採決を行います。第21号議案について、賛成の方の起立を求めます。

(起立多数)

○委員長(戸匹映二)

起立多数であります。ご着席ください。よって、第21号議案については、原案の通り可決すべきものとして決しました。

次に、特別会計に入ります。特別会計の第22号議案から第28号議案までは一括して討論を行います。

○委員長(戸匹映二)

以上で討論を終わります。これより採決を行います。特別会計、第22号議案から第28号議案については、原案の通り可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

異議なしと認めます。よって、第22号議案から第28号議案については、原案の通り可決すべきものとして決しました。以上で本委員会に付託を受けました議案の審査を終わります。以上で、予算委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後0時05分 閉会

臼杵市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに記録を作成する。

令和4年3月15日

臼杵市議会

予算委員会委員長 戸 匹 映二